



歩行空間ナビ・プロジェクト **ほこナビ**

オープンデータにより
誰もが**スマイル**になる
移動環境の構築に向けて



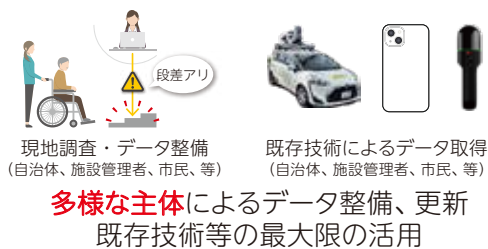
名称：「あるこっく」
人それぞれの歩き方や
多様性をイメージした
カラフルな近未来のロボット

ICTの活用により誰もが自律的に安心して移動できる包摂社会を実現（イメージ）

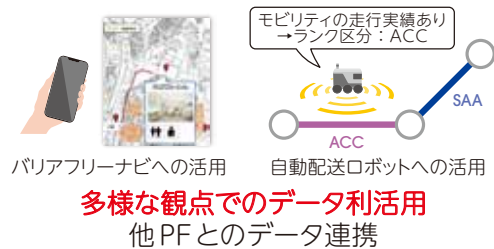


取組みのポイント

データ整備、更新



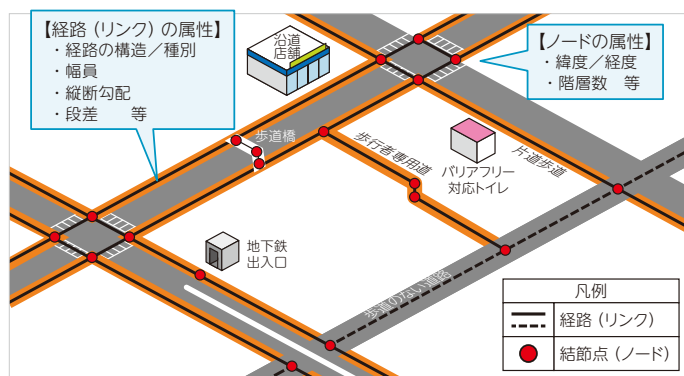
データ利活用



歩行空間ネットワークデータ

歩行空間の形状に合わせて配置するノード“点”とリンク“線”に対して、移動経路の段差や勾配等のバリア情報を付与したデータを指します。

歩行空間ネットワークデータ



主なバリアとなる「幅員」・「縦断勾配」・「段差」のランク区分

	幅員	縦断勾配	段差
S	2m以上 (離合可能)	0% (平坦)	0cm (段差なし)
A	1m以上～2m未満 (通行可能)	0%～5%以下 (道路の移動等円滑化に関するガイドラインに適合)	0cm～2cm以下 (道路の移動等円滑化に関するガイドラインに適合)
B	—	5%～8%以下 (道路の移動等円滑化に関するガイドライン等に適合)	2cm～5cm以下 (電動車椅子で通行可能)
C	1m未満 (モビリティで通行可)	8%～18%以下 (一部モビリティで通行可能)	5cm～10cm以下 (一部モビリティで通行可能)
Z	1m未満 (通行不可)	18%より大きい (通行不可)	10cmより大きい (通行不可)
X	不明	不明	不明

バリアフリー施設等データ

「施設」、「バリアフリー設備」の2種類のデータで構成され、それぞれの位置情報やバリアフリー情報等を含むデータを指します。

バリアフリー設備にはトイレ・エレベーター・駐車場・乳幼児用施設・出入口の情報を含みます。

データのポイント

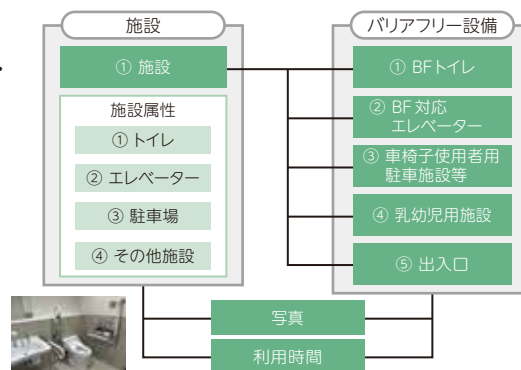
① 全国共通の標準的なデータフォーマット

各サービス提供者からのバラバラな情報提供を回避!

② 写真による簡易なデータ整備へ

ボランティア等の投稿によるデータ整備が可能に!

バリアフリー施設等データの構成



歩行空間の3次元地図

ハンディ型LiDAR等で取得した歩行空間の3次元点群データを図化したものを指します。

公共測量等のためMMSで整備した車道上の高精度な3次元点群データと、植栽等により欠損している歩道部分をハンディ型LiDAR等の安価なセンサーにより取得した3次元点群データの統合処理により整備していく方針です。



●お問合せ先
国土交通省政策統括官付
TEL: 03-5253-8111
FAX: 03-5253-1675

